

静岡市 日中サービス支援型指定共同生活援助 事業評価シート

事業所名
ソーシャルインクルーホーム静岡袖師町
作成年月日
令和2年6月22日

1 基本情報 (令和2年6月1日時点)

事業所 情報	指定年月日	令和 元 年 11 月 1 日
	法人名	ソーシャルインクルー株式会社
	法人所在地	東京都品川区南大井6-25-3
	事業所名	ソーシャルインクルーホーム静岡袖師町
	事業所所在地	静岡市 清水区 袖師町 407-1
	定員 (共同生活援助)	20 人
	定員 (短期入所)	1 人

利用状況	障害支援区分	計 画	現 在	現在の総利用者数
	非該当	0 人	0 人	16 人
区分 1	0 人	0 人		
区分 2	4 人	0 人	利用者の最短利用期間	
区分 3	6 人	6 人	令和2年6月5日 ~ 令和2年6月22日	
区分 4	6 人	9 人	か月 17 日	
区分 5	4 人	1 人	利用者の最長利用期間	
区分 6	0 人	0 人	令和元年12月3日 ~ 令和2年6月22日	
計	20 人	16 人	6 か月 19 日	

職員配置	配置人員	職種	実人数	常勤換算
		管理者	1 人	0.1 人
		サービス管理 責任者	1 人	0.1 人
		世話人	24 人	8.2 人
		生活支援員	5 人	4.1 人
	夜間支援体制	夜間支援従事 者	21 人	
看護職員の配置	有 配置状況	0 人	人	

ソーシャルインクルーホーム静岡袖師町

2 サービスの提供内容		(地域生活支援部会)
① GH内での日中の過ごし方 (支援内容・標準日程等)	利用者数 17 人中 9 人利用	評価・要望・助言
<p>散歩、通院同行、お絵かき、折り紙、映画鑑賞、オセロなど ご利用者様毎にご意向に合わせて対応をさせて頂いております。</p>	<p>・障害の種別によっては、スケジュールを明確にしたり、ご本人がわかりやすくなる工夫をしたり、個別の対応をぜひ進めて欲しい。 ・当事業の主旨、目的を踏まえて利用対象者の受入を行うと共に、専門性の高い支援員の育成・配置が必要。利用者の方への対応は、年齢相応の言葉遣いや接し方をお願いしたい。普段と週末の過ごし方、生きがいや達成感を持てる等の工夫に努めていただきたい。 ・ご本人の意向に合わせて日中活動をされているようだが、意思決定支援、意向確認をどのような形で行われているか詳細がわかる計画等があればよい。 ・「お絵かき」・・・子どもの施設ではないので、表現には気をつけていただければと思う。 ・日中活動サービスを利用しない日や休日等の見守りの他、日中活動や余暇支援充実のため積極的な支援をお願いしたい。 ・グループでコミュニケーションをとることや、逆にとりたくない人への配慮等の工夫をしながらメニューを考えていただきたい。必要不可欠な外出は、施設で対応できるようにしていただきたい。(床屋や、行政への申請等)</p>	<p>評価・要望・助言への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様、ご家族様、相談事業所等関係機関様と連携させて頂き、ご利用者様毎の対応を進めさせて頂きま す。 ・権利擁護を踏まえ対応をさせて頂きます。オンライン研修も含め職員のスキルアップに努めて参ります。 ・モニタリングや担当者会議の中でご意向を確認し、支援内容等調整をさせて頂きます。 ・記載に配慮が足りませんでした。誠に申し訳ございません。 ・上述の通りご意向を確認しながら、また新型コロナウイルス感染症の状況も見ながら対応をさせて頂きます。 ・ご利用者様毎に障害特性や精神状態に合わせた声掛け等配慮しながら対応をさせて頂きます。外出支援や訪問診療、訪問歯科なども含めて対応をして参ります。
② 他の日中活動サービスの利用状況 (サービス種別ごと・人数)	利用者数 16 人中 11 人利用	評価・要望・助言
<p>就労B型 5 名、生活介護 6 名</p>	<p>・就労Bや生活介護など、積極的なグループホーム外利用がある。 ・日中活動サービスが利用できなかった車いすの方の機能回復が進みサービス利用につながったことは、日中サービス支援型のグループホームとしての成果である。 ・利用者個々のニーズをしっかりと把握し、それぞれの満足度を向上させて欲しい。 ・相談支援事業者や利用者の方が通う他の事業所と密に連携し、安心して日中の活動が行えるよう更には幅広い選択肢の情報提供を行うなど暮らしぶりを深める支援をお願いしたい。 ・利用者の希望を聴きながら生活が豊かになるよう、他事業所との連携を深めていただきたい。 ・他の日中活動を利用できるようにしてもらいたい。利用できない理由があれば記載してほしい。</p>	<p>評価・要望・助言への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会との関わりを含め、日中活動先を探すことについてもご意向を確認しつつ進めさせて頂きます。 ・有難うございます。ご利用者様の状態にあった支援が出来るよう進めさせて頂きます。 ・ご利用者様、ご家族様、関係機関様と連携し進めさせて頂きます。 ・連絡ノートの活用や定期的な連絡を進めさせて頂きます。 ・密に連携をしながら、ご利用者様に寄り添った支援を進めさせて頂きます。 ・日中活動先は制限しておらず、グループホームとしても一緒に探させて頂いております。あくまでもご利用者様に選んで頂くように進めさせて頂きます。

③ 日常生活支援の取組状況	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>(食事、入浴、排せつ介助、安眠支援、利用者への行動障害など)</p> <p>毎食グループホームのキッチンにて職員が食事を作っています。入浴や排せつ介助についても個々のご利用者様毎に関係機関様と支援内容を調整させて頂き、対応しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を維持しつつ、状態が良くなることを目指して欲しい。 ・自然災害やウイルス感染が発生した場合の支援マニュアル作成と共に、非日常における支援の長期的な対応にも備えが必要。 ・職員の介助スキルが高くないとの事だが、その場合はなるべく職員配置を手厚くし、利用者・職員双方の不安を軽減できるように努めてもらいたい。 ・行動障害のある方への支援についての記載があればよい。 ・すでにご本人の生活スタイルが決まっている方もいると思うが、自立に向けた支援が受けられなかった方などの可能性を持っている方もいると思われるので十分なアセスメントと支援をお願いしたい。 ・障害特性の把握と、それに合わせた個別対応をお願いしたい。相談支援から依頼された個別支援内容を受けていただいたことがよかった。 ・食事以外の水分補給や軽食の提供はどのように行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様毎のADLに合わせたご支援を継続させていただきます。 ・感染症マニュアルを作成しております。 ・ご利用者様にご不便が無いよう職員のスキルアップと職員配置の見直しを進めさせていただきます。 ・共同生活として自立訓練の場として出来る限り対応をさせていただきます。 ・ご利用者様のご意向やご家族、関係機関様と連携しながら過去経緯も踏まえ対応をさせていただきます。 ・長年連れ添って来られた相談支援の方々としっかり連携させて頂き、支援計画を作成させていただきます。 ・外出前後や夜間起きてこられた時など熱中症対策として水分補給の声掛けは行っており、軽食についてはご利用者様の健康状態や金銭状況に合わせて対応をさせて頂いております。
④ 利用者とのコミュニケーション (方法と頻度等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>毎朝体調確認にて声掛けし、その後も1時間に1回は声掛けをして体調管理・コミュニケーションを取るようにしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害種別や年齢、特性に合わせてコミュニケーションが取れる専門性を磨き、意思決定支援に繋げて欲しい。 ・知的・発達障害のある人は受診のコミュニケーションが少ない。発信の仕方を音声言語だけに頼らないように、個人に合った手立てで支援を行ってほしい。 ・体調管理の記録や様子(体調)の変化を訪問看護事業所に充分伝えてほしい。 ・意思疎通の難しい方への支援についての記載があればよい。 ・重度の方は対応や指示が職員によって差があったり、対応職員が次々に代わると混乱するため、一貫した対応や対応職員の少数化が必要になってくると思われる。 ・入所に当たっては、計画相談事業所だけでなく、保護者や日中活動の場の職員との情報共有をお願いしたい。 ・今後も定期的な時間を取って、全員と話す仕組み及び機会を作っていただきたい。 ・言語でのコミュニケーション以外の方法でもコミュニケーションはとっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様毎にコミュニケーションの取り方などご家族様や関係機関様にも確認しながら進めさせていただきます。 ・身振り手振りを含めてご利用者様毎にコミュニケーションの取り方を工夫させていただきます。 ・業務日誌や個別支援経過書などにも体調について記載をしており、不安点等共有をさせて頂いております。 ・上述のように身振り手振りを含めコミュニケーションの取り方を工夫させて頂いております。 ・支援方法については職員間ですり合わせを行わせて頂いております。 ・ご利用者様が気持ちよく生活が出来るかどうか、色々な方のご意見が必要になりますので幅広くヒアリングをして進めさせて頂くように致します。 ・お食事はリビングでみなさん一緒に取って頂いており、今後も全員が定期的にコミュニケーションが取れるよう進めさせていただきます。 ・重度知的のご利用者様には1日の中でも定期的に手を繋いで廊下を散歩するなどご利用者様毎に対応をさせて頂いております。

⑤ 健康管理（緊急時の対応方法）、服薬支援の方法	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>24時間オンコールの訪問看護ステーションと契約し、月に2回は来所頂いてバイタルチェック等行って頂いております。また、ご利用者様毎に服薬管理が必要な方については事務所で管理をし、毎食後職員にてWチェックして服薬頂いております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時には24時間対応の訪問看護体制が整っている。 ・訪問看護ステーションとの連携は安心感があるが、新型コロナウイルス感染症の心配もあるため、毎日の検温や体調確認も実施をお願いしたい。 ・日常のバイタルチェックも重要。専門職に頼りすぎない環境作りをお願いしたい。 ・日々の健康管理には食の支援も重要。GHや病院、地域の健康診断を通じて必要な検査や診断を受け、食事や運動、生活スタイルなどさまざまな健康管理に配慮されたい。 ・健康診断はどのようにしているか。 ・主治医は各個人で違うと思うが、緊急時の対応についてどのようにしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き訪看事業所と連携を進めさせていただきます。 ・毎朝の体調確認時に検温も対応させて頂いております。 ・上述の通り、日々対応をさせて頂いております。 ・健康診断については病院とも連携をさせて頂き、機会の確保に努めさせていただきます。 ・上述の通り進めさせていただきます。 ・ご担当のソーシャルワーカーや主治医の先生、訪問看護ステーションと連携を取り進めさせていただきますが、状況に合わせて119番にて緊急搬送も対応させていただきます。
⑥ 利用者のプライバシー及び個人情報保護のための取組状況	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>個人ファイルの鍵付き書庫での保管、事務所外でのご利用者様情報の閲覧・会話の原則禁止等のルールのもと対応しております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に誓約書を書かせるなど、意識向上への取り組みも必要と思われる。 ・事業所としての守秘義務への姿勢と方針を確認いただき、個人の守秘義務契約書等作成するなどの工夫をお願いしたい。 ・災害や不測の事態で利用者を第三者に託さなければならない場合に備え、事前の承諾を得た上で情報をコピーしておくなどの検討も必要。 ・SNSなどへの書き込みについてもスタッフに指導してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入職時に個人情報取扱いについての誓約書を取得しております。 ・上述の通り、全従業員から取得しております。 ・緊急搬送等のケースも含め、個人ファイルに情報を纏めており、鍵付き書庫にて保管をしております。 ・SNS等への書き込みについては誓約書やホーム規則にて記載し、指導しております。
⑦ 金銭・貴重品管理体制	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>ご利用者様毎にご本人・ご家族・関係機関様の意向を確認し、必要な方については事務所金庫にて金銭・貴重品管理を行わせて頂いております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細不明だが、社協の権利擁護などの利用を基本とし、必要最小限度の小口現金の管理にとどめるのが望ましい。 ・本人、家族、サービス等利用計画の担当者らとの成年後見制度利用の検討も必要。 ・必要に応じて権利擁護や成年後見を利用し、事業所に負担がないように対応をお願いしたい。 ・事故防止のため鍵の管理者の明確化や金銭の出納簿の記載等の対策をお願いしたい。 ・事務所金庫にて金銭管理を行っているが、具体的にどのように管理を行っているか（出納帳を付け、月に1回管理者が出納帳と残金をチェックしているとか）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に保護者や代理人が不在の方には後見人制度の利用含めご案内をさせて頂いております。 ・上述の通り、関係各所と連携をしながら進めさせていただきます。 ・ご配慮頂き有難うございます。上述の通り、連携しながら進めさせていただきます。 ・金庫の鍵については、管理者・サービス管理責任者・生活支援員のみを使用しており、小口現金出納帳について各個人毎に記載させて頂いております。 ・入出金の際に個人毎に小口現金出納帳を記載し、月に1回ご利用者様・ご家族様へのチェックと本社経理部にてチェックをさせて頂いております。

⑧ 地域生活の支援 (地域との交流状況・外出支援の取組状況等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>近くのスーパーや清水駅までなどの外出支援含め、ご利用者様の状況に合わせて対応をさせて頂いております。地域との交流については新型コロナウイルスにて自粛をしておりますが、積極的に地域催し物への参加を考えております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出支援を積極的に行っているというように評価できる。 ・今年度は、感染症対策で対応に苦慮されているようだが、終息後にむけて、地域の情報収集や関係構築に励み、利用者の余暇活動充実に努めて欲しい。 ・ホームスタッフの支援に加えて福祉サービスの支援を活用するなどし、さまざまな社会参加の機会を提案すること。地域住民が障害に対する理解を深め、お互いが地域でどのように繋がり、住民としての役割を担っていくか、本人の意思決定を軸に充実した地域生活の支援を願う。 ・外部支援（ガイドヘルパー・行動援護）等を活用し、余暇支援、社会参加をするようにできればと思う。 ・地域の方の理解を得るため活動を積極的に行ってほしい。 ・居住系のGHなので、地域のお祭りや自治会との関わりなど地域生活らしさを取り入れてもらいたい。清水といえばみなどかっぼれやお祭りに参加する等で地域との交流を深めてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有難うございます。引き続き対応して参ります。 ・感染症対策をした上での外出支援を進めて参ります。また、地域の催し物など情報収集を進めて参ります。 ・移動支援や同行援護などご利用者様の活用出来るサービスを妨げることが無いように進めさせていただきます。 ・上述の通り、対応させていただきます。 ・新型コロナ感染症にて延期や中止が多いですが、積極的に参加出来るよう情報収集を進めさせていただきます。
⑨ 緊急時・災害・不測の事態発生時の対応 (連絡・バックアップ体制等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>避難訓練を半年に1度行っております。また新型コロナウイルス等不足の事態が起こった場合は弊社近隣グループホーム（富士市、沼津市、藤枝市など）からの応援や本社からの応援にてバックアップ体制は整えております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルが整備されている。 ・水害も多いので、水害にもしっかりとした対応をお願いする。 ・県内の同様のグループホームからの応援体制がとられることは安心である。 ・利用者の訓練も開設したばかりということもあり、もう少し頻度を増やしても良いと思う。また、職員の誘導訓練や図上訓練など、内容の充実が必要と感じた。 ・災害時の対応訓練と共に、危機時にも事業を継続するために事業継続計画（BCP）の作成をしておくのも備えとして必要。さらには、利用者の不安やストレスを解消する支援策を準備しておくことが大切。 ・会社からの応援以外も考慮しておいた方が良いと思う。地域の防災訓練、町内会の協力は必要だと思う。 ・一般避難所、福祉避難所の把握とハザードマップを使った風水害での避難行動などGHでできる避難について具体的にしていきたい。日頃からの地域の関わり合いを持っていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害マニュアルにそって避難訓練を実施させて頂いております。 ・庵原川が一番近い川となりますが、ハザードマップ上は浸水地域外となっております。水害対策についても計画を作成致します。 ・引き続き応援体制を整えて参ります。 ・ホーム内に避難経路図等掲示をしておりますが、職員の誘導訓練や図上訓練など検討して参ります。 ・事業継続計画（BCP）の作成を検討して参ります。 ・自治会にも加入しておりますので地域の防災訓練にも参加させて頂けるよう調整して参ります。 ・ホームのすぐ横にある袖師小学校が避難場所となっており、風水害緊急避難場所が徒歩3分程の距離の袖師生涯学習交流館となっております。

⑩ 短期入所の利用状況 (緊急時の受入状況等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>月平均 延べ利用人数 3 人</p> <p>A様：今後グループホームを検討している方で試験的に月に1回ご利用頂いております。 B様：東京からの緊急対応案件で約2か月間の対応となりました。 C様：駿河区の方で緊急対応案件、お母様の入院から急遽ご利用となり、現在は本入居となりました。</p>	<p>・地域の短期入所ニーズは、かなり高いと感じるので、積極的に利用を進めて欲しい。 ・GH利用者同様、安心・安全・充実した時間を過ごせるようなショートステイの支援をお願いしたい。 ・(B様)の例、他県からの緊急対応案件というのは法人の都合だと思う。地域のためのグループホーム(短期入所)であれば、市内の利用者のために確保していただきたい。 ・緊急時の短期入所の受入れ先として期待している。 ・入所施設の緊急時の短期入所の利用は、事前に短期入所の利用が条件となっているが、貴事業所の場合の利用方法について関係機関への周知をお願いしたい。 ・緊急時の短期入所から、GH入所することができ、本人や相談支援事業所も安心できたと思われる。老障介護の問題は全国的な課題となっているので、柔軟に対応していただきたい。</p>	<p>・案内周知が足りず申し訳ございません。開かれた施設となるよう積極的にご案内して参ります。 ・ご利用者様、ご家族様、関係機関様と情報共有をさせて頂き、しっかりとご支援させて頂きます。 ・今後は地域に根差した形でご利用頂けるようご案内させて頂きます。 ・困っていらっしゃる方の受け皿として積極的にご案内させて頂きます。 ・緊急時の受け入れについては事前の利用有無は条件ではありませんが、ご情報を頂いた上でしっかりとご支援が出来るかどうかご相談をさせて頂いております。 ・引き続きご利用者様、ご家族様、関係機関様と連携させて頂き、より良い形のお手伝いが出来ればと思っております。</p>
⑪ 職員間の情報共有 (方法と頻度等)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>職員入れ替わりのタイミングにて毎回申し送りを実施しており、業務の引継ぎだけでなく支援に関わる部分も周知徹底しております。また、毎出勤時に連絡ノートを全職員が確認し、情報共有に努めています。</p>	<p>・利用者の混乱を防ぐためにも情報共有と一貫した対応は、大切である。 ・全員での申し送りは不可能と思われるので、情報共有の方法にもっと工夫が必要と感じる。 ・個々の利用者に関する情報の共有だけでなく、研修などで得た知識や技術、対応方法などの情報共有も大切。 ・今後も現在の取り組みを行っていき新人スタッフへの周知徹底を行ってほしい。 ・職員間のミーティング等を定期的で開催していただき、静岡市においての福祉サービスの状況の共有をしていただきたい。 ・スタッフ会議(グループホーム支援者全員が集まるもの)等でのケース検討はされているか。</p>	<p>・引き続き一貫した対応が出来るよう情報共有や支援のすり合わせをさせて頂きます。 ・新規入居者様の情報等については直前だけではなく、数日前から共有を始め、情報深度の祖語が無いよう進めさせて頂きます。 ・外部研修につきましても参加後はしっかりと他職員へ周知をさせて頂きます。 ・有難うございます。継続して徹底させて頂きます。 ・各事業所様とも連携をさせて頂き、把握した情報(動向)等についても共有を図って参ります。 ・世話人は非常勤の者が多い為、管理者・サービス管理責任者・生活支援員にて個々にケース会議を行わせて頂いております。</p>

⑫ 職員の資質向上への取組 (研修実施、勤務条件・職務内容の適正化)	評価・要望・助言	評価・要望・助言への対応
<p>毎月本社主導にて現場職員全員受講の研修を行っております。外部研修にも職員を積極的に参加させる方針ですが、新型コロナウイルスの影響もあり、まだ今年度は受講出来ておりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修があり充実している。 ・コロナの対応も含め、感染症対策をしつつ、職員研修は優先的に実施して欲しい。 ・職員の勤務条件や待遇の充実、情報共有など安心して業務ができる体制づくりをお願いしたい。 ・利用者理解のため日中活動の場での様子等の確認も研修の一つとしてあってもいいのではないか。 ・事業の利用対象者への支援で、職員に必要とされる障がい特性の知識や理解、対応の仕方などに関して不安な状態にあることは大きな問題。専門性の高い支援スキルを持つ職員体制を早急に整えてもらいたい。 ・一番の講師はご利用者本人なので、内部職員だけでもスキルを上げていくことはできていくと思う。 ・現場職員だけでなく管理職などへの研修なども必要。 ・個別での自主勉強（スキルアップ）に取り組んでいたが、専門性のある介助を目指していただきたい。 ・人材養成についてはどのように行っているか。 ・自閉症、行動障害のある方への支援はどのように行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施して参ります。 ・オンラインでの研修も含め、対応させていただきます。 ・評価制度を作成しており、職員の待遇改善にも取り組んでおります。 ・管理者やサービス管理責任者については弊社他ホームとも連携をしており、支援については職員へも共有をさせて頂いております。 ・介護スキル等支援スキルの高い方の採用を継続させて頂いております。 ・試行錯誤をしながら、またご本人様、ご家族様、関係機関様とも連携をしながら、支援スキルの向上に努めて参ります。 ・現場だけでなく、管理職への研修指導も含め、職員を巡回させております。 ・OJTと研修にて実施しております。 ・一般的な支援対応の資料と合わせ、ご家族様関係機関様にお伺いをしながら進めております。